

# 令和3年度(2021年度)事業報告書

## [ 概 況 ]

長野県の農業は、食料供給はもとより、地域経済や文化を支え、さらには景観形成や環境保全などの重要な役割を担っています。一方、社会構造の変化や気候変動の顕在化などに伴い、生産量の減少や農地利用の低下、農業者の減少・高齢化など多くの課題を抱えています。

また、新型コロナウイルスの蔓延による移動や外出の制限・自粛に伴い、農産物需要の縮小や燃料・生産資材価格の高騰などによる農業経営へのダメージは大きく、優良種苗の安定供給は益々重要となっています。

こうした中、令和3年度の当センターの事業につきましては、会員はじめ関係機関・団体、農業者等のご協力の下、役職員一丸となって優良種苗の安定供給等に取り組んでまいりました。事業全体では、当期経常増減額で6,500千円余りの赤字となりましたが、赤字幅は前年より約6,300千円圧縮することができました。

主要農作物原種・種子生産供給事業につきましては、「長野県主要農作物及び伝統野菜等の種子に関する条例」に基づく種子管理団体として事業に取り組みましたが、天候不良の影響を受け、全ての品目で計画数量未達となっております。特に、麦類、大豆及びそばは、需要数量を確保するため転用等を行う事態となりました。

野菜等種子生産販売事業につきましては、主力品目であるキャベツ・レタスの需要の減少に歯止めがかからず、前年を下回る結果となりました。一方、野菜等苗及び果樹原穂木等の生産販売事業につきましては、新たに組み込んだイチゴ実取り用砂上げ苗や果樹新品種の販売、新証紙発行に伴う売上げ増などにより、前年を上回る結果となりました。

きのこ母菌生産販売事業につきましては、第8期(2022～2024年度)事業計画の策定に伴い、JA中核種菌センターへの再委託を核とする見直しの枠組みを決定しました。

経営基盤を支える基本財産等の運用につきましては、国債等を中心とした安全かつ効率的な運用に努め、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

なお、当面する課題として、主要農作物種子では作柄不良に伴う一般品からの転用の常態化、野菜等種子では需要減少による販売不振などが顕在化しております。

## [ 各部・事業別の実施状況 ]

### 1. 総務部

#### (1) 総務関係

ア 基本財産等の運用は、基本財産運用規程及び運用計画に基づき、引き続き長野県信連の定期貯金や国債、地方債、政府保証債により、安全かつ効率的な運用に努めました。

その結果、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

イ 公益目的支出計画の実施概況は、次のとおりです。(平成25年度から実施)

○ 実施事業等 主要農作物原種の生産供給・遺伝資源種子等の保存・きのこ母菌の生産販売(3事業)

○ 令和2年度期末公益目的財産残額 1,978,287,871円

○ 令和3年度公益目的収支差額(赤字額) △ 33,133,054円

- 令和3年度期末公益目的財産残額 1,945,154,817円
- 完了予定年月日 令和79年(2097年)3月31日(残り期間75年間)

ウ 採種事業における農福連携の可能性を探るため、試験的に障がい者施設への作業委託を行いました。なお、委託した作業は、ピーマンの手交配と大豆の手選別です。

## エ 主な開催行事

- 令和3年
  - 5月14日 令和2年度事業及び収支決算監査
  - 5月17日 理事会書面決議(事業報告書・貸借対照表・公益目的支出計画実施報告書等の承認)
  - 6月8日 理事会書面決議(通常総会の書面による決議の実施・役員の補欠選任に係る提案事項の承認)
  - 6月15日 第17回通常総会書面決議(事業報告書・貸借対照表等の承認、役員補欠選任他)
  - 6月23日 理事会書面決議(理事長及び副理事長の選定)
- 令和4年
  - 3月4日 理事会書面決議(基本財産運用計画・事業計画書・収支予算書の承認、職員就業規程の改正他)
  - 3月28日 第18回通常総会(事業計画書・収支予算書の承認、役員補欠選任他)

## (2) 遺伝資源等保存事業

ア 遺伝資源保存施設の永年貯蔵庫において、植物遺伝資源3,000点余や、受託方式による「信州の伝統野菜」種子の保存管理を行いました。(令和4年3月末現在22品種・うち令和3年度中の受託9品種)

イ 同施設の中・長期貯蔵庫において、主要農作物種子の生産に用いる原種等の貯蔵及び入出庫を行いました。

## 2. 農産部

### (1) 主要農作物原種生産供給事業

ア 種子計画に基づく原種生産は、そばを除きほぼ計画どおり確保することができました。

イ そばは、開花期間中の低温や日照不足により結実不良となったことから、計画を大幅に下回る生産(計画対比33%)となりました。なお、不足分は種子からの転用により充当しました。

ウ 新たに奨励品種等に採用された次の品種の原種生産に着手しました。

- 奨励品種：小麦「東山53号」(ハナチカラ)・「東山55号」(しろゆたか)
- 認定品種：水稻「つきあかり」、大豆「東山231号」(すずみのり)

エ 水稻原種の品種鑑定のため、全15品種(17点)のDNA分析を行いました。

オ 主要農作物原種全体で、生産量 19 t (計画対比 101%)、供給は 17 t (前年対比 98%) となりました。(備蓄原種等含む)

- 水稲：生産 10.0 t (計画対比 100%) 供給 7.6 t (前年対比 101%)
- 麦：生産 6.8 t (計画対比 98%) 供給 7.3 t (前年対比 107%)
- 大豆：生産 2.6 t (計画対比 120%) 供給 1.7 t (前年対比 88%)
- そば：生産 0.04 t (計画対比 33%) 供給 1.0 t (前年対比 72%)

カ そば「しなの夏そば」の採種用に配布した転用原種において、誤って「信濃 1 号」を配布し損害が発生したため、採種者への補償を行いました。なお、今後の品種誤認を防ぐため、種子袋の色変更やチェックリストの改訂等を行うこととしました。

## (2) 主要農作物種子生産事業

### ア 水稲

- 低温や日照不足等の天候不順による作柄不良により、「コシヒカリ」・「風さやか」・「つきあかり」・「金紋錦」の 4 品種で契約数量未達となりましたが、契約数量以上の生産があった採種 J A からの買い増しや備蓄種子により、需要数量を確保しました。
- 水稲種子全体では、生産量 940 t (計画対比 98%)、供給は 924 t (前年対比 96%) となりました。
- 本年度認定品種に採用された水稲「つきあかり」(業務用多収系品種)の採種を開始しました。また、県外需要向け業務用品種「ちほみのり」の契約栽培に向けて、試験栽培を行いました。
- イネばか苗病特別対策地域の指定を受けた採種地では、4 年間の対策に効果があったとして指定が解除されました。
- 作柄不良による種子不足等の不測の事態に備えるため、一定量の種子を備蓄し翌年種子として活用する「回転備蓄制度」の導入に向けた検討を行いました。

### イ 麦

- 4 月の凍霜害や 7 月上旬の降雨などで品質不良となり、契約数量を大幅に下回ったため、大麦「シュンライ」・「ホワイトファイバー」及び小麦「ゆめかおり」・「しゅんよう」の 4 品種について、準種子の基準緩和(本年度限りの特例措置)により、72 t 分を確保しました。
- 上記のほか、一般ほ場から契約数量の 7%に相当する 19 t を転用し、需要数量を確保しました。
- 麦種子全体では、生産量 275 t (計画対比 105%)、供給は 263 t (前年対比 89%) となりました。

### ウ 大豆

- 開花期以降の大雨や低温、日照不足により、主要品種の「ナカセンナリ」・「ギンレイ」・「すずほまれ」で契約数量を大幅に下回る 28 t (計画対比 46%) の生産となりました。このため、一般ほ場から契約数量の 7 割を超える 47 t を転用し、需要数量を確保する予定です。
- 契約数量未達による転用は 7 年連続と常態化していますが、その原因は天候不順によるもののほか、主要採種地における小麦後作での晩播による生育不良の影響も少な

くないと考えられます。このため、主要採種地の負担軽減に向けた新たな採種地の開拓及び既存採種地の面積拡大を図るため、大豆産地関係者と意見交換を行いました。

## エ そ ば

○ 夏そば・秋そばとも、生育初期の湿害により契約数量を大幅に下回り、全体で生産量7t(計画対比36%)となりました。このため、一般ほ場から夏そば1.5t・秋そば0.7tを転用し、需要数量を確保しました。

### (3) 主な開催行事

#### ○ 令和3年

- 4月26日 第1回農産専門委員会(大豆及びそば原種・採種ほ設置計画他)
- 4月28日 大豆採種ほ設置会議・技術研修会
- 5月6日 麦原種ほ1次審査会(須坂市)
- 5月17日 麦採種ほ作柄調査・現地指導会(～28日, JAながの・佐久浅間他)
- 5月25日 麦原種ほ2次審査会(須坂市)
- 7月6日 夏そば採種ほ作柄調査・現地指導会(JA上伊那)
- 7月29日 第2回農産専門委員会(麦種子価格決定, 水稻・大豆種子備蓄計画他)
- 8月11日 水稻原種ほ1次審査会(～13日, JA佐久浅間・ながの・中野市, 須坂市)
- 8月12日 大豆採種ほ作柄調査・現地指導会(～31日, JA上伊那・信州うえだ他)
- 8月18日 大豆原種ほ1次審査会(～31日, 須坂市/JA松本ハイランド・信州うえだ)
- 8月20日 水稻採種ほ作柄調査・現地指導会(～30日, JA松本ハイランド・あづみ他)
- 8月24日 水稻原種ほ2次審査会(～9月3日, 須坂市/JA佐久浅間・中野市・ながの)
- 9月10日 そば原種ほ1次審査会(JA信州うえだ)
- 9月22日 第3回農産専門委員会(麦原種・採種ほ設置計画他)
- 9月27日 秋そば採種ほ作柄調査・現地指導会(～30日, JA上伊那・信州諏訪・松本ハイランド他)
- 9月30日 そば原種ほ2次審査会(JA信州うえだ)
- 10月11日 麦採種ほ設置会議・技術研修会
- 10月15日 大豆原種ほ2次審査会(JA松本ハイランド・信州うえだ/須坂市)
- 11月24日 第4回農産専門委員会(水稻種子価格決定, 水稻採種ほ設置方針他)

#### ○ 令和4年

- 2月16日 第5回農産専門委員会(水稻原種・採種ほ設置計画, 大豆種子価格決定)
- 3月9日 水稻採種ほ設置会議・技術研修会

## 3. 園芸部

### (1) 園芸種苗生産販売事業

#### ア 野菜等種子生産販売事業

- 生産については、主力のピーマンが計画を上回る計画対比118%、葉野菜類では開花期の曇天による受精不良等によりキャベツは計画対比88%、レタスは計画対比72%となりました。
- 野菜等種子全体では、備蓄種子を合わせ、全品種とも概ね需要に即した数量を確保することができました。

- 県野菜花き試験場が改良したキャベツ「Y R S E - S P」の本格的な採種に取り組み、先行してコート種子を「Y R S E」から全面切替えしました。
- 販売については、ピーマン「ベルホープ」が堅調であったものの、キャベツ・レタス等の主要品目は減少に歯止めがかからず、計画対比 74%、前年実績対比 94%の販売となりました。

#### イ 野菜等苗生産販売事業

- イチゴ原苗については需要が安定しており、計画対比 97%の販売となりました。
- 実需者から要望のあるイチゴ実取り用砂上げ苗の生産に取り組み、「サマーリリカル」4,000本を試験販売しました。
- わさび苗については、原苗を従来型に戻すことにより供給が安定したため、計画対比 102%の販売となりました。
- 以上の結果、野菜等苗全体では計画対比 107%、前年実績対比 124%の販売となりました。

#### ウ 果樹原穂木等生産販売事業

- 新品種の「リンゴ長果34」（キルトピンク）の複生母樹用苗木の販売や、ぶどう「長果G11」（クイーンルージュ®）の苗木販売に伴う証紙販売が好調で、売上げ増となりました。
- 種苗法の改正に伴い、新証紙を発行し、旧証紙との交換を行ったため、大幅な売上げ増となりました。
- 以上の結果、果樹種苗事業全体では計画対比 182%、前年実績対比 181%の販売となりました。

エ 園芸種苗事業全体では、計画対比 80%、前年実績対比 107%の販売となりました。

### (2) きのこ母菌等生産販売事業

ア 「第7期(2019~2021年度)きのこ原種菌生産供給事業」の計画に基づき、製造等業務委託先である長野県農村工業研究所をはじめ、JAグループ等と連携し、高品質母菌の安定供給に努めました。

イ 生産した母菌については、変異等の情報を早期に把握し対応するため、モニター栽培を実施し、品質管理に努めました。

ウ えのきたけ、ぶなしめじ及びバイリング母菌全体で、計画対比 100%、前年実績対比 99%の販売となりました。

エ 「第8期(2022~2024年度)きのこ母菌生産供給事業」の計画策定に伴い、JA中核種菌センターへの再委託を核とする、新たな母菌供給事業の枠組みを決定しました。

### (3) 主な開催行事

- 令和3年  
4月30日 レタス委託採種ほ母株調査及び採種技術現地指導会（長野市）

- 5月26日 トマト委託採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会（JAあづみ）
- 5月27日 キャベツ「YRSE-SP」現地生育状況調査（～6月9日）
- 7月1日 キャベツ交配種子栽培検定調査（塩尻市）
- 7月5日 ピーマン委託採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会（JAあづみ他）
- 7月6日 「農福連携」ピーマン交配技術指導会（当センター直営ほ場）
- 8月6日 果菜類交配種子栽培検定調査（JAあづみ）
- 8月23日 レタス種子栽培検定調査（上田市）
- 8月27日 レタス新系統現地生育状況調査（～9月7日，上田市・塩尻市）
- 9月9日 園芸専門委員会きのか部会（第8期きのか母菌生産供給事業基本方針・  
収支試算・母菌病菌災害共済事業要領の決定）
- 9月30日 県職務育成品種果樹苗木生産状況調査（～10月12日，果樹種苗協）  
キャベツ「YRSE-SP」種子推進（～10月4日，種苗協組・全農長野）
- 11月10日 だいこん委託採種ほ母本選抜及び採種技術現地指導会（JAながの）

○ 令和4年

- 1月11日 「農福連携」色大豆選別業務委託打合せ及び選別指導会（当センター）
- 2月21日 園芸専門委員会きのか部会（令和4年度きのか母菌生産供給事業基本方針  
・母菌価格の決定）

4. 種子事故・災害等補填事業

(1) 生産または配布を行う種苗について、気象災害や不慮の事故等により損害が発生した場合の損失や、主要農作物種子の備蓄残量等の処理にともなう差損を補填するため、種子事故・災害等補填事業要領及び要項に基づき、準備金の拠出(積立)及び補填金の支払いを行いました。

(2) 準備金の拠出(積立)額 24,668,498円（拠出者：種子生産JA・団体，当センター他）

(3) 補填金の支払額

ア 種子の生産段階の補填

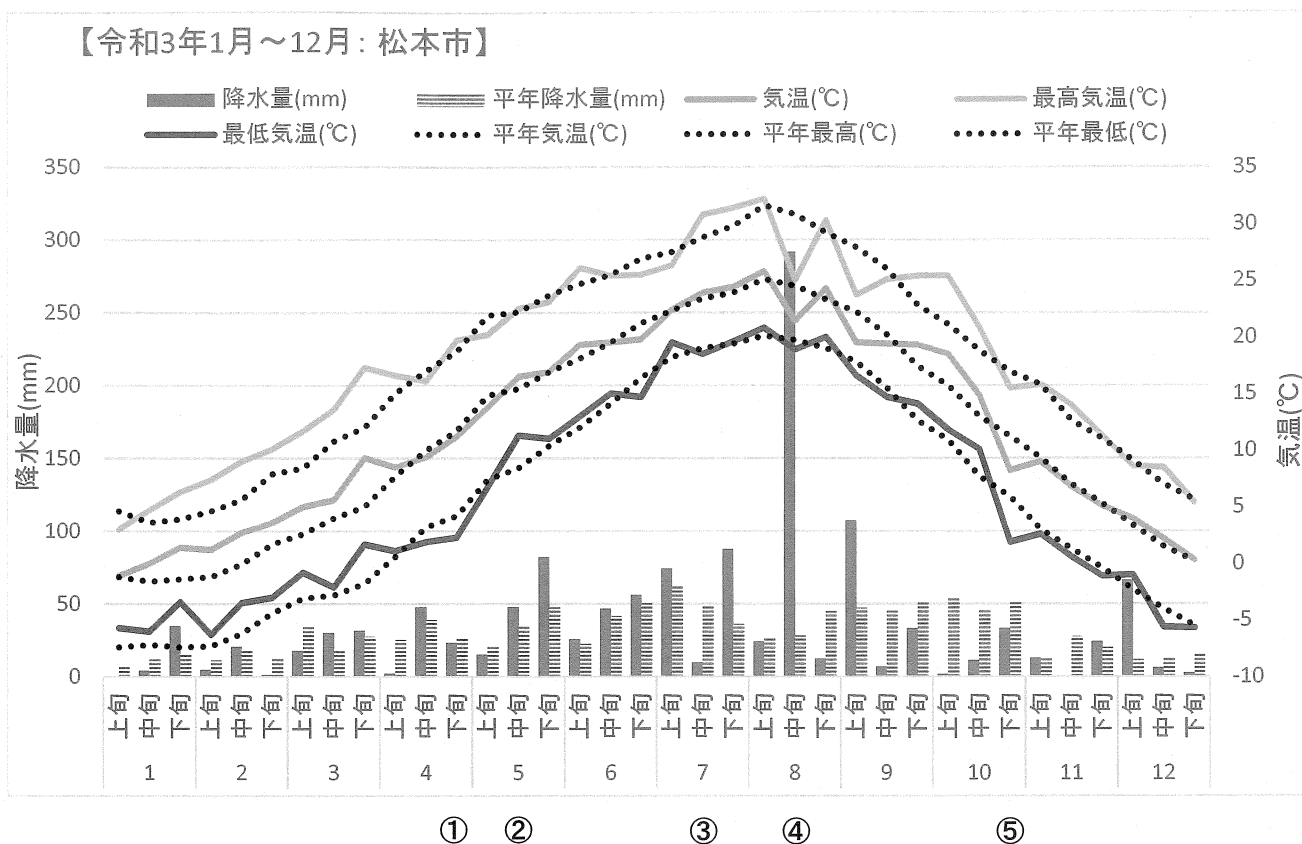
- そば「しなの夏そば」原種の誤配布に伴う採種者への損失補填 127,625円
- 水稻「あきたこまち」種子の県外調達に伴う価格差・付帯費用補填 1,054,560円

イ 主要農作物残量処理補填

- 水稻・麦種子の残量処理に伴う差損補填 21,035,343円  
（水稻：14品種／42.5t，麦：3品種／7.6t）

ウ 合計 22,217,528円

## [ 参 考 ] 令和3年の気象概況



### 【不順天候等による作柄への影響】

時期	品目	生育状況
① 4月下旬	麦類	凍霜害による幼穂凍死・不稔・出穂不斉一
② 5月中旬	夏そば	湿害による生育不良
③ 7月中旬	大豆	小麦後作での生育初期の干ばつによる生育量の低下
④ 8月中旬	水稻	出穂後の低温による成熟期前半の登熟不良
	大豆	大雨、低温、日照不足による生育量の低下
	秋そば	大雨による水田転換畑での湿害・生育量の低下
⑤ 10月下旬	大豆	降霜による強制登熟により小粒化

令和3年度(2021年度)種苗等生産供給・販売実績

1. 主要農作物等原種

(1) 水稻原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
うるち	コシヒカリ	kg 6,000	kg 6,000	% 100	kg 5,710	
	あきたこまち	720	645	89	646	
	風さやか	720	720	100	472	
	ひとめぼれ	—	—	—	38	
	天竜乙女	190	275	144	20	
	ゆめしなの	100	90	90	15	
	きらりん	100	85	85	15	
	つきあかり	480	675	140	222	
	ふくおこし	190	250	131	48	飼料イネ
	ミルキークイーン	—	—	—	79	
	(小計)	8,500	8,740	102	7,265	
もち	もちひかり	380	375	98	88	
	カグヤモチ	190	125	65	20	
	モリモリモチ	190	280	147	42	
	オラガモチ	—	—	—	—	
	(小計)	760	780	102	150	
酒米 (醸造用米)	美山錦	—	—	—	153	
	ひとごごち	290	190	65	39	
	金紋錦	190	130	68	16	
	しらかば錦	190	130	68	6	
	山恵錦	100	100	100	12	
	(小計)	770	550	71	226	
合計		10,030	10,070	100	7,641	

(2) 麦原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
大麦	シュンライ	kg 1,620	kg 1,695	% 104	kg 1,214	
	ファイバースノウ	—	—	—	360	
	ホワイトファイバー	450	340	75	480	
	(小計)	2,070	2,035	98	2,054	
小麦	ハナマンテン	—	—	—	160	
	しゅんよう	350	400	114	544	
	ゆめかおり	1,190	970	81	1,296	
	ユメセイキ	350	430	122	414	
	東山53号	1,050	1,040	99	1,008	出願名称: ハナチカラ
	東山55号	1,890	1,955	103	1,900	出願名称: しろゆたか
	(小計)	4,830	4,795	99	5,322	
合計		6,900	6,830	98	7,376	



## (3)大豆原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
大 豆	ナカセンナリ	kg 1,500	kg 1,800	% 120	kg 1,297	出願名称: すずみのり
	すずほまれ	—	—	—	200	
	ギンレイ	180	15	8	108	
	つぶほまれ	150	150	100	126	
	すずろまん	75	120	160	12	
	東山231号	300	575	191	—	
合 計		2,205	2,660	120	1,743	

## (4)そば原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	kg —	kg —	% —	kg 855	商標: 信州ひすいそば
	タチアカネ	135	45	33	—	
	長野S11号	—	—	—	180	
合 計		135	45	33	1,035	

※ 生産実績は3年産の原種数量、供給実績は3年度中(4月～3月)に供給した原種数量である。(備蓄等含む)

## 2. 主要農作物等種子

## (1)水稲種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計画比		
う る ち	コシヒカリ	kg 724,800	kg 707,860	% 97	kg 700,520	飼料イネ
	あきたこまち	89,620	90,100	100	83,660	
	風さやか	59,040	57,720	97	54,024	
	ひとめぼれ	4,800	4,800	100	6,396	
	天竜乙女	3,840	3,840	100	3,044	
	ゆめしなの	2,220	2,220	100	2,312	
	きらりん	1,480	1,480	100	1,156	
	つきあかり	11,520	10,720	93	10,720	
	ふくおこし	7,200	7,200	100	7,340	
	ミルキークイーン	9,600	9,600	100	8,156	
(小計)	914,120	895,540	97	877,328		
も ち	もちひかり	11,700	11,700	100	9,484	
	カグヤモチ	720	720	100	596	
	モリモリモチ	4,060	4,440	109	4,440	
	オラガモチ	480	340	70	352	
	(小計)	16,960	17,200	101	14,872	
酒 米 (醸造用米)	美山錦	17,280	18,240	105	20,184	
	ひとごごち	4,800	4,800	100	7,244	
	金紋錦	1,920	1,540	80	2,084	
	しらかば錦	960	960	100	712	
	山恵錦	1,920	1,920	100	2,520	
(小計)	26,880	27,460	102	32,744		
合 計		957,960	940,200	98	924,944	

## (2)麦種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 麦	シ ュ ン ラ イ	kg 44,100	kg 43,000	% 97	kg 38,050	
	ファイバースノウ	16,650	28,000	168	27,575	
	ホワイトファイバー	20,700	21,000	101	21,000	
	(小 計)	81,450	92,000	112	86,625	
小 麦	ゆ め き ら り	40,950	40,200	98	40,680	
	ハ ナ マ ン テ ン	33,600	33,600	100	30,660	
	し ゅ ん よ う	34,500	37,800	109	36,390	
	シ ラ ネ コ ム ギ	27,660	23,250	84	19,080	
	ゆ め か お り	23,460	30,000	127	31,800	
	ユ メ セ イ キ	18,570	18,570	100	18,570	
(小 計)	178,740	183,420	102	177,180		
合 計		260,190	275,420	105	263,805	

## (3)大豆種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 豆	ナ カ セ ン ナ リ	kg 47,580	kg 22,520	% 47	kg 52,700	
	す ず ほ ま れ	6,000	2,420	40	7,620	
	ギ ン レ イ	4,060	—	—	2,620	
	つ ぶ ほ ま れ	3,300	3,040	92	4,760	
	す ず ろ ま ん	600	600	100	1,270	
合 計		61,540	28,580	46	68,970	

## (4)そば種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
夏 そ ば	し な の 夏 そ ば	kg 2,250	kg 2,700	% 120	kg 2,700	
秋 そ ば	蕎 麦 信 濃 1 号	18,000	4,343	24	12,465	
	タ チ ア カ ネ	—	—	—	2,498	
	桔 梗 1 1 号	1,508	945	62	3,758	商標: 信州ひすいそば
(小 計)		19,508	5,288	27	18,720	
合 計		21,758	7,988	36	21,420	

※ 生産実績は3年産の種子買入数量、供給実績は3年度中(4月～3月)に供給した種子数量である。(備蓄等含む)

### 3. 野菜等種子

種 類	品 種	生産実績		販売実績			
		数量	計画比	数量	計画比	金額	計画比
キャベツ	S E	0	%	0	%	千円	%
	Y R S E - S P 他	7.5	34	23.9	77	4,478	69
	(小計)	15.3	383	11.2	80	1,975	66
		22.8	88	35.1	78	6,453	68
野 沢 菜	ニューシナノ	—	—	57.2	74	947	66
レ タ ス	シナノホープ	—	—	5.1	57	1,746	59
	サマーエース	—	—	4.5	75	1,733	79
	シナノスター他	17.2	72	3.5	35	1,463	30
	(小計)	17.2	72	13.1	52	4,942	49
パセリー	洗馬系	—	—	12.1	101	319	93
だいこん	戸隠おろし他	11.5	144	11.3	71	411	68
ト マ ト	なつのしゅん	5.0	167	7.7	96	1,962	77
	らくゆたか他	3.7	74	2.9	73	710	67
	(小計)	8.7	109	10.6	88	2,672	74
ピーマン	ベルホープ	27.2	118	35.3	101	9,196	107
	ベルマサリ	—	—	1.7	57	555	74
	台パワー	—	—	0.5	50	163	70
	(小計)	27.2	118	37.5	96	9,914	104
アスパラガス	ずっとデルチェ他	0.0	0	3.4	170	427	150
えんどう	さやたろう	—	—	17.4	109	72	103
色大豆原種	華大黒他	955.5	88	770.0	79	1,085	71
合 計		1,042.9	89	967.7	79	27,242	74
せんぶり	みまき1号他	g	%	g	%	千円	%
		1,275	283	1,275	283	309	283
総 合 計						千円	%
						27,551	74

### 4. 野菜等苗

種 類	品 種	苗形態	生産実績	販売実績			
			数量	数量	計画比	金額	計画比
イチゴ原苗	サマープリンセス サマーエンジェル サマーリリカル 章 姫 紅 ほ っ ペ (小計)	鉢 苗	本	本	%	千円	%
			2,225	2,225	131	853	131
			30	30	—	12	—
			5,319	5,319	144	1,923	129
			7,447	7,447	83	2,701	82
			4,963	4,963	89	1,841	88
			19,984	19,984	100	7,330	97
イチゴ実取苗	サマーリリカル	砂上げ苗	4,000	4,000	—	792	—
わさび培養苗	長・野23号	プラグ苗	8,190	8,190	102	1,198	102
採種用原苗	レタス他	鉢 苗	141	141	108	6	120
合 計			32,315	32,315	115	9,326	107

5. 果樹原穂木他

種 類	品 種	生産実績	販 売 実 績				
		数 量	数 量	計 画 比	金 額	計 画 比	
苗 木 (複生母樹用)	りんご	本	本	%	千円	%	
		109	109	—	412	—	
原 穂 木 ・ 穂 木	りんご	シナノスイート	kg	kg	%	千円	%
		シナノゴールド	15.0	15.0	65	46	63
		シナノリップ	12.0	12.0	150	50	119
		長ふ12他	6.0	6.0	300	59	295
		(小計)	16.3	16.3	53	155	161
	なし	南農ナシ6号他	49.3	49.3	77	310	134
		ぶどう	3.0	3.0	43	33	49
		長果G11 ナガノパープル他	3.0	3.0	100	33	100
	もも	なつっこ	2.0	2.0	22	11	20
		紅晩夏	5.0	5.0	83	33	83
	ネクタリン	サマークリスタル	1.0	1.0	50	5	45
		スイートクリスタル	6.0	6.0	75	38	75
	あんず	信州大実他	1.5	1.5	150	8	133
		サマーキュート他	1.5	1.5	50	17	52
	プルーン	サマーキュート他	3.0	3.0	75	25	64
		シナノパール	2.0	2.0	67	5	83
	りんご台木	マルバカイドウ	1.0	1.0	50	7	54
		5 B B	1.0	1.0	100	10	100
	ぶどう台木	101-14	5.0	5.0	100	16	100
		(小計)	34.0	34.0	85	131	85
合 計		143.0	143.0	119	550	119	
		177.0	177.0	111	681	111	
果樹証紙		枚	枚	%	千円	%	
	りんご	68,565	68,565	192	2,624	237	
	ぶどう	22,079	22,079	216	747	332	
	もも	12,259	12,259	153	639	145	
	品種名無・出願中他	23,342	23,342	145	723	131	
	(小計)	126,245	126,245	180	4,733	204	
総 合 計					千円	%	
					6,314	182	

6. きのこ母菌他

種 類	品 種	生産実績	販 売 実 績				
		数 量	数 量	計 画 比	金 額	計 画 比	
母 菌	えのきたけ	本	本	%	千円	%	
		長野農工研GA12	118	118	99	1,014	99
		長野農工研iQ2	518	518	100	4,450	100
		シナノアーリー	176	176	101	1,512	101
	(小計)	812	812	100	6,976	100	
	ぶなしめじ	NN-12	640	640	101	5,498	101
	バイリング	シナノ淡雪	1	1	—	9	—
合 計		1,453	1,453	100	12,483	100	